

中学部通信



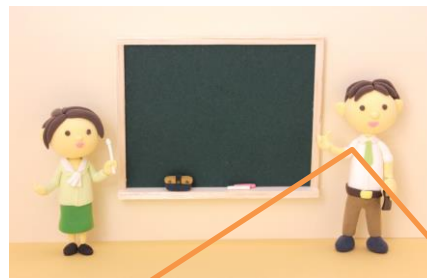
ブノンペン補習校
中学部通信 1月号
2018年1月13日(土)
内山・増田

心引き締めて

短い冬休みでしたが、皆さんは有意義に過ごせましたか？
3学期は行事が盛りだくさん！最初の行事は書き初め。
中学部では、冬休みの課題で詠んだ自作の短歌や俳句を半紙に
バランス良く書くことに挑戦です。今回は『書道マスター』
岡村先生がお手本を書き、指導してくださいました。皆さん良く
集中して書いていましたね。その集中力、とても大切なのです。
ぜひ！その集中力でこれからの行事にも取り組んでください。
2月には運動会があります。小学部と幼稚部の児童や園児達の
良きサポーターとして活躍してくれることを期待しています。



新しい先生のご紹介



中学部の皆さん、こんにちは！

私は、今年一月から中学部の数学と社会を担当する内山淳（うちやまじゅん）と言います。

平日は、JICAの専門家として働いています。どんな仕事をしているかというと、カンボジアの人達と一緒に、法律を作ったり、法律の内容を説明したり、法律のことを話し合ったりしています。皆さんは、カンボジアの「民法」や「民事訴訟法」という法律を聞いたことがありますか？実は、これらの法律は、日本が支援して作ったものです。日本は、法律を作るだけでなく、作った後も、カンボジアの人達に使いこなしてもらえよう、長い間、支援を続けています。そういう支援をすることが、私の平日の仕事です。

ところで、皆さんはスポーツをしますか？野球やサッカーをするときには、基本的なルールや動作を覚えますね。そして、もっと上手になりたいと思ったら、たくさん練習しますよね？数学や社会も、それと同じです！

私は皆さんに数学や社会の「ルール」や「動作」を分かりやすく伝えたいと思っています。きっと半年もしたら数学や社会が上手い「選手」になっているはずですよ。補習校での授業は週に1回しかありませんが、気になることがあったら、遠慮なく、どしどし質問してください。では、次回の授業で待っています。